

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月15日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部 シニアマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 飯田 裕樹
 (氏名) 勝呂 公晶

TEL 03-5368-8883

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,947	△35.4	△11	—	△63	—	△422	—
21年3月期第3四半期	3,017	—	△416	—	△485	—	△768	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△20.88	—
21年3月期第3四半期	△37.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,098	1,764	54.2	83.12
21年3月期	4,272	2,156	48.5	102.51

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,680百万円 21年3月期 2,072百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2) 平成21年3月期におきましては、平成20年6月30日を臨時決算日・平成20年7月31日を基準日として、1株当たり、5円の配当を行いました。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	△39.8	10	—	△40	—	△400	—	△19.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 SOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITED) 除外 1社 (社名 株式会社ソフィアシステムズ)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	20,693,000株	21年3月期	20,693,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	480,793株	21年3月期	478,893株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	20,212,909株	21年3月期第3四半期	20,606,935株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合がございます。
・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、世界的な景気後退が長期化する中、企業収益は依然として低迷が続き、これに伴う設備投資の抑制により引き続き厳しい状況が続きました。一部には回復の兆しが見えるものの、景気後退の影響は根強く、先行きに対する見通しは依然不透明な状況で推移致しました。このような事業環境のなか、当社グループとしましては、インターネット関連事業を中心としたソフィア総合研究所株式会社及びSOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITED、情報システム関連事業を中心とした株式会社ソフィアモバイルの3社により各事業ドメインでの業容拡大を目指して積極的な活動を行いました。

近年、IT業界は、景気後退の影響のため、各企業のIT投資削減が顕著にあらわれ、事業環境が厳しいまま推移しております。しかしながらその一方で、不祥事の防止や発生後の社会的信用失墜を最小限にいとめるためのセキュリティ対策や内部統制の強化といったコンプライアンス対応投資を牽引役とするシステム需要が拡大するものと見込まれております。こうした状況下で、当社グループは、より魅力のあるサービスや商品を提供することをかけ、営業の拡販活動や既存顧客に対するサービス拡大に注力いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間の業績としましては、売上高が666百万円（前年同四半期は885百万円）となりました。損益面におきましては、営業利益13百万円（前年同四半期は営業損失237百万円）、経常損失5百万円（前年同四半期は経常損失258百万円）、四半期純損失135百万円（前年同四半期は四半期純損失543百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

[情報システム事業]

子会社である株式会社ソフィアモバイルの次世代型電子POP端末（nanica7）販売を展開し、売上高は31百万円（前年同四半期22百万円）となりました。

[インターネット関連事業]

子会社のソフィア総合研究所株式会社では、インターネット関連事業・ECサイト構築関連事業を行っており、売上高は637百万円（前年同四半期615百万円）となりました。

また、第2四半期連結会計期間より、子会社のSOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITEDを新たに設立いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前連結会計年度末に比べ1,173百万円減少し、3,098百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少額843百万円、有形固定資産の減少額532百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ781百万円減少し、1,334百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少額384百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ392百万円減少し、1,764百万円となり、自己資本比率は54.2%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は200百万円（前年同四半期は315百万円の使用）となりました。これは、差入保証金の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において投資活動の結果獲得した資金は41百万円（前年同四半期は0百万円の使用）となりました。これは、敷金の回収による収入等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は55百万円（前年同四半期は272百万円の獲得）となりました。これは、借入金の返済による支出および社債の償還による支出等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月13日に決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,650	50	5	△226	円 銭 △10 92
今回修正予想 (B)	2,600	10	△40	△400	△19 33
増減額 (B-A)	△50	△40	△45	△174	—
増減率 (%)	△1.9%	△80.0%	—	—	—
前期実績	4,319	△369	△439	△852	△41 37

(第3四半期および通期連結業績予想の修正の理由)

詳細につきましては、平成22年2月15日付「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」で発表しております内容をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、連結子会社であった株式会社ソフィアシステムズの当社保有株式のすべてを、第1四半期連結会計期間において株式会社ソーワコーポレーションに譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

また、第2四半期連結会計期間より、SOPHIA ASIA-PACIFIC, LIMITEDを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出方法に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価の切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法に基づく減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・受注制作ソフトウェア開発に係る収益及び費用の計上基準の変更

受注制作ソフトウェア開発に係る収益及び費用の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注制作ソフトウェア開発契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,203,872	1,059,396
受取手形及び売掛金	524,534	1,367,998
有価証券	44,442	16,009
商品及び製品	58,843	133,774
仕掛品	—	104,816
原材料及び貯蔵品	—	42,178
その他	310,113	235,750
貸倒引当金	△1,661	△47,978
流動資産合計	2,140,146	2,911,945
固定資産		
有形固定資産	136,737	668,906
無形固定資産	151,126	149,840
投資その他の資産		
投資有価証券	153,746	430,308
敷金及び保証金	509,914	85,837
その他	111,944	80,473
貸倒引当金	△105,000	△54,785
投資その他の資産合計	670,604	541,834
固定資産合計	958,468	1,360,581
資産合計	3,098,614	4,272,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	207,260	591,677
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	100,000	160,000
未払法人税等	23,160	19,278
引当金	—	56,000
その他	325,645	270,526
流動負債合計	956,066	1,397,483
固定負債		
社債	170,000	240,000
長期借入金	100,000	175,000
退職給付引当金	—	182,370
その他	108,533	121,493
固定負債合計	378,533	718,865
負債合計	1,334,600	2,116,348

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	250,397
利益剰余金	△612,715	△190,637
自己株式	△60,987	△60,794
株主資本合計	1,684,694	2,106,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,415	△34,739
為替換算調整勘定	△1,217	—
評価・換算差額等合計	△4,632	△34,739
新株予約権	83,952	83,952
純資産合計	1,764,014	2,156,178
負債純資産合計	3,098,614	4,272,527

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,017,051	1,947,707
売上原価	2,196,263	1,439,530
売上総利益	820,788	508,176
販売費及び一般管理費	1,237,533	519,634
営業損失(△)	△416,744	△11,458
営業外収益		
受取利息	1,702	1,130
受取配当金	2,967	515
還付加算金	—	1,526
その他	6,896	677
営業外収益合計	11,567	3,850
営業外費用		
支払利息	9,993	12,410
持分法による投資損失	66,485	41,623
その他	4,035	1,991
営業外費用合計	80,513	56,025
経常損失(△)	△485,691	△63,633
特別利益		
投資有価証券売却益	1,691	19,765
保険解約返戻金	3,472	495
持分変動利益	7,616	—
貸倒引当金戻入額	6,043	6,375
その他	—	4,592
特別利益合計	18,825	31,228
特別損失		
固定資産除却損	—	8,263
投資有価証券評価損	136,087	40,445
投資有価証券売却損	—	16,633
貸倒引当金繰入額	—	123,223
和解金	—	10,531
事務所移転費用	—	13,138
持分法による投資損失	—	119,204
特別損失合計	136,087	331,440
税金等調整前四半期純損失(△)	△602,953	△363,844
法人税、住民税及び事業税	6,252	22,090
法人税等調整額	159,145	36,143
法人税等合計	165,397	58,234
四半期純損失(△)	△768,351	△422,078

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	885,531	666,524
売上原価	690,605	494,739
売上総利益	194,925	171,784
販売費及び一般管理費	432,727	158,039
営業利益又は営業損失(△)	△237,801	13,744
営業外収益		
受取利息	103	282
受取配当金	1,047	10
その他	880	153
営業外収益合計	2,032	447
営業外費用		
支払利息	4,069	4,141
持分法による投資損失	16,258	14,897
その他	2,479	540
営業外費用合計	22,808	19,580
経常損失(△)	△258,577	△5,387
特別利益		
投資有価証券売却益	—	286
貸倒引当金戻入額	643	1,023
特別利益合計	643	1,309
特別損失		
投資有価証券評価損	131,839	—
持分法による投資損失	—	119,204
特別損失合計	131,839	119,204
税金等調整前四半期純損失(△)	△389,773	△123,282
法人税、住民税及び事業税	476	12,311
法人税等調整額	153,088	278
法人税等合計	153,565	12,589
四半期純損失(△)	△543,338	△135,872

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△602,953	△363,844
減価償却費	40,479	53,946
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,855	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,600	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	60,802	40,579
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△27,000	—
受取利息及び受取配当金	△4,670	△1,646
支払利息	9,993	12,410
投資有価証券評価損益 (△は益)	136,087	40,445
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,691	△3,131
新株予約権の増減額 (△は減少)	31,482	—
持分法による投資損益 (△は益)	66,485	160,827
持分変動損益 (△は益)	△7,616	—
有形固定資産除却損	—	8,263
和解金	—	10,531
売上債権の増減額 (△は増加)	491,087	128,420
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△89,962	29,542
未収消費税等の増減額 (△は増加)	12,399	2,732
その他の資産の増減額 (△は増加)	△45,037	△642,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	△573,914	△30,279
未払金の増減額 (△は減少)	41,453	40,998
預り金の増減額 (△は減少)	31,502	49,268
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,912	15,809
その他の負債の増減額 (△は減少)	△7,776	△1,691
小計	△480,509	△449,247
利息及び配当金の受取額	4,670	1,646
利息の支払額	△10,899	△12,542
法人税等の支払額	△157,999	△23,520
法人税等の還付額	—	79,090
和解金の支払額	—	△10,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△644,738	△415,104

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△354,968	—
投資有価証券の売却による収入	110,314	143,006
有形固定資産の取得による支出	△7,903	△5,037
有形固定資産の売却による収入	—	529,077
無形固定資産の取得による支出	△49,220	△52,000
貸付金の回収による収入	1,601	127
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	190,573
関係会社株式の取得による支出	△47,385	△10,000
敷金の差入による支出	—	△27,872
敷金の回収による収入	—	51,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,561	819,134
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	137,500	—
リース債務の返済による支出	△6,271	△29,403
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△75,000
社債の償還による支出	△118,000	△130,000
自己株式の取得による支出	△299	△193
セール・アンド・リースバック取引による収入	—	4,903
配当金の支払額	△101,129	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,799	△229,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,219
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△780,500	172,909
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,967	1,075,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,119,467	1,248,315

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。